

DECISION

Request for Redress

Request No.: 01

Heard Jointly With Number(s): 02

Event: 第42回 J/24クラス全日本選手権大会/ The 42nd All Japan J/24 Class Championships Race Number: 4
Hearing Schedule: 2023-11-26 14:20

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 01: J/24 - 5 4 4 9 - 月光 - 武居 徳真

Race Committee

Request No.: 02: J/24 - JPN 4709 - MARIL - 足立 拓馬

Race Committee

Witnesses: RC、桂禎之

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Beyond with Good Reason 救済の要求は常識的にできるだけ早く提出されているので、抗議締め切り時刻を延長する。

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問1と2のインシデントは密接に関連しているので、同時審問とする。

FACTS FOUND

第4レースのスタート信号時に、風速は20ノットであった。

RCは艇4と艇12がスタートラインのコースサイドにあることを特定し、音響1声とともにX旗を掲揚した。

スタート10秒後、艇10が、引き続き艇3がコースサイドから戻り始め、そのあとプレスタートサイドに完全に戻りスタートした。

スタート信号20秒後、艇12がコースサイドから戻り始め、プレスタートサイドに完全に戻り、スタート信号の30秒後に再スタートした。

その直後に、シグナル船のRCは艇4がプレスタートサイドに戻っていないと認識していたが、ピンエンド側にいたRC艇に確認し、ピンエンド側にいたRCは、艇4はスタート信号時にプレスタートサイドに完全に戻っていたことをシグナル船に報告した。

シグナル船のRCは報告に基づき、艇4がOCSでなかったと判断し、X旗を降下した。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 29.1, 62.1

RCは規則29.1に従い、スタート信号時に艇体がスタートラインのコースサイドにあった艇が、完全にプレスタートサイドに戻るまでX旗を掲揚した。

したがって、RCに不適切な処置も不手際もなかった。

DECISION

救済を与えない。

Date & Time: 2023-11-26 15:16 JST

PROTEST COMMITTEE

Committee Type Protest Committee
Chaired By: Masaaki Tanaka (JPN)
Committee Members: Hiroyuki Furukawa (JPN)